

## 宮坂了作 (みやさか・りょうさく)



宮坂了作《諏訪湖に水を注ぐ》2017年／諏訪市

「水に水を注ぐ」。このパフォーマンスは最小の行為で最大の表現を求めた作品です。

諏訪湖畔で水を注ぎ、太平洋の清水港で水を注ぎ、日本海の直江津港で水を注ぐ。地球上の海や川、湖の水に水を返す、ナンセンスで自然に寄り添うパフォーマンスだと思っています。また、この発想は「日本の俳句のような短い言葉による宇宙の表現行為は何なのか」との考えからです。

アメリカのブルース・リーは、「カンフーの極致とは」の質問に、「水になれ (Be Water)」とっています。この言葉にはいろいろと深い意味があります。私も少しでもこの境地に近づきたいですね。Be Water!!

(宮坂)

1950年、長野県生まれ。70年、日本大学芸術学部入学。71年、現代美術家・高松次郎の私塾で学ぶ。72年、カリフォルニア芸術大学 (C.I.A) 留学、「ハプニング」の芸術家・アラン＝カプローらに学ぶ。大学構内で《A・ファイア・フェスティバル》実施。73年、クーパー・ユニオン・アートスクール (ニューヨーク) に交換留学。74年、カリフォルニア芸術大学卒業 (BFA)。75年、下諏訪町在住の観念芸術家・松澤宥と出会う。2016年、在る表現—その文脈と諏訪 (茅野市美術館)、19年、シンビズム3 (上田市立美術館) 出展。21年、植物文字と地図の絵画 (軽井沢ニューアートミュージアム)、22年、水のふるまい / 土のすがた (アンフォルメル中川村美術館)。